

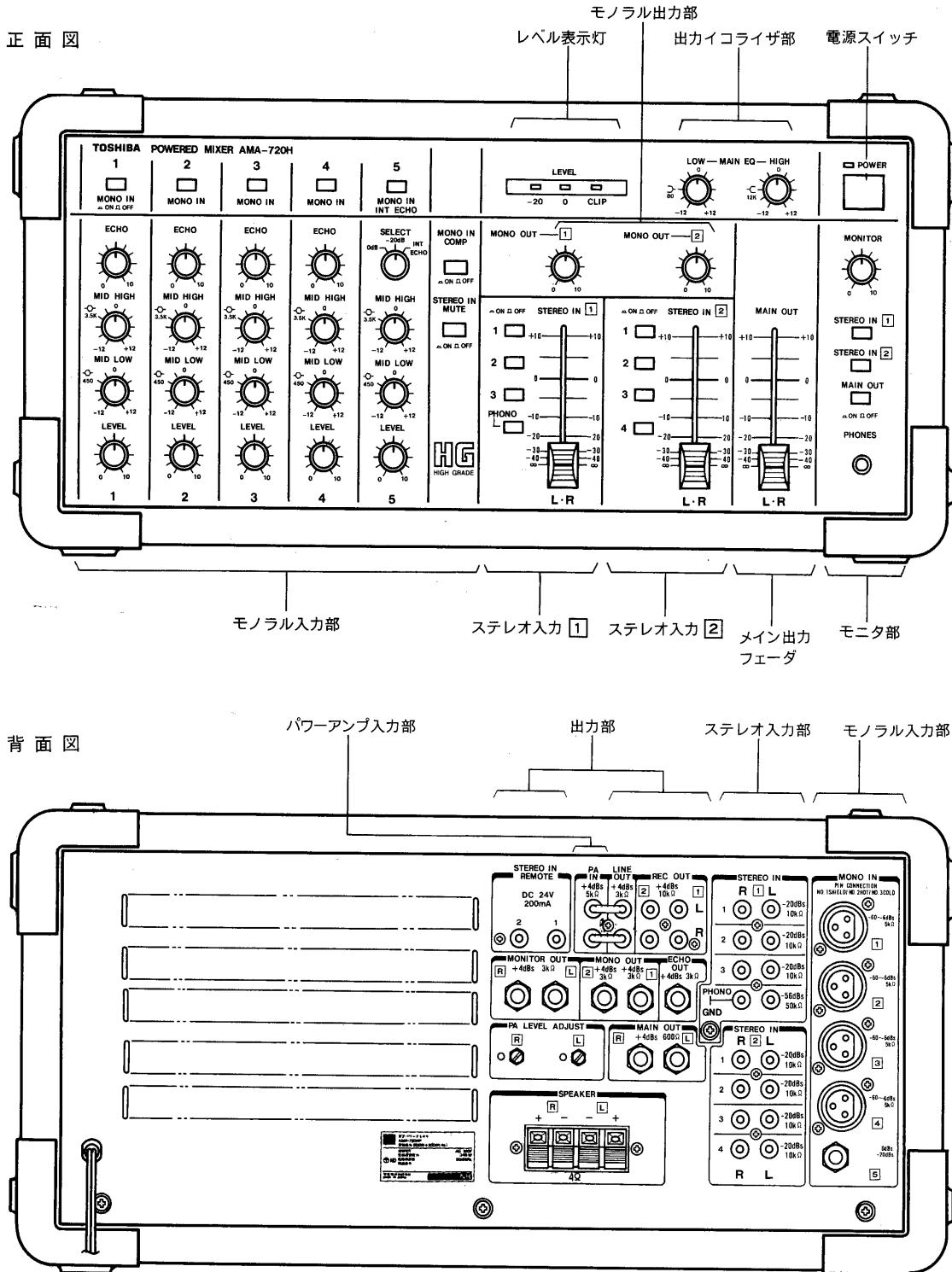
TOSHIBA

東芝パワードミキサ取扱説明書

AMA-720HP

このたびは東芝パワードミキサをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのパワードミキサを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは必ず保存してください。

各部のなまえ



工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

特にご注意を

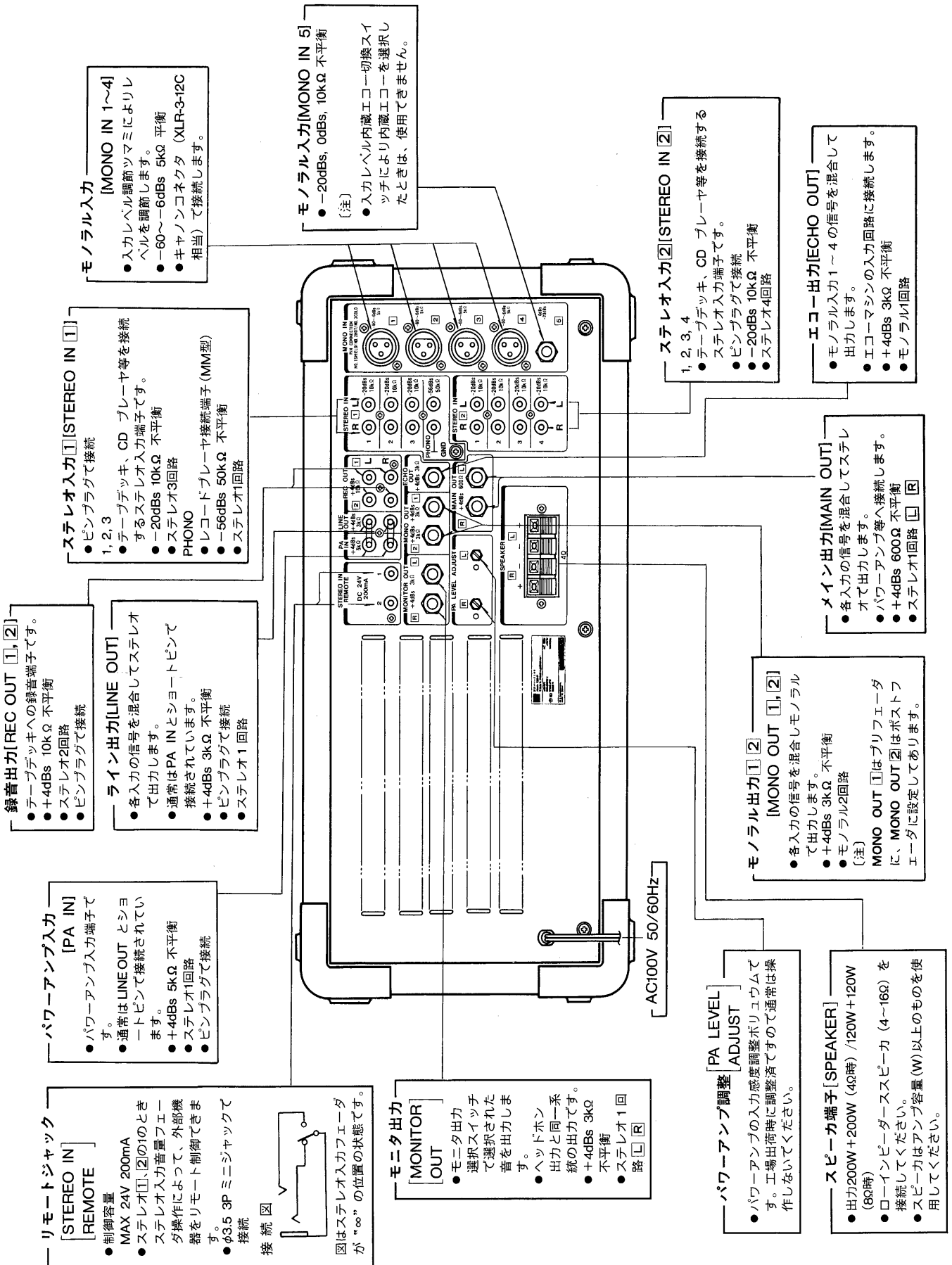
- 通風のよい場所に設置してご使用ください。
 - 湿度の高い所や温度の高い所（直射日光のあたる所など）でのご使用はさけてください。
- 本機の改造は絶対にしないでください。
 - 電気用品取締法にふれることがありますので本機内部の改造は絶対におやめください。
- 機器接続の際、必ず電源コードをコンセントからはずしてください。
- 電源コードや接続機器類のコードは正しく接続し、抜くときにはプラグを持って抜き取るようにしてください。コードを引っ張るとプラグの中で断線するおそれがあります。
- 本機の上に水の入ったものを置かないでください。水をこぼしますと大変危険です。
- 本機の中にピンなどの金属物を落としたときは、すぐに電源コードの接続をはずし、取り出してください。そのまましておきますと、故障、感電などの原因になり危険です。
- 電源電圧はA C 100 Vでご使用ください。
- ヒューズは指定容量のものと交換してください。
 - 針金や銅線をヒューズのかわりに使用しないでください。また交換するヒューズは指定容量のものを必ずご使用ください。
- 本機の汚れは乾いた布でふいてください。また汚れがひどいときは、水または石けん水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。溶剤や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしますと塗装や塩ビシートがとれたり変色することがありますので使用しないでください。
- 使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じた場合にはすぐに電源コードの接続をはずし、お買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。

操作上のご注意

- ヘッドホンはステレオ用のものをお使いください。
 - モノラル用のものをお使いになりますと片チャンネル（チャンネル）出力しかモニターできません。
- 本機はファンによる強制空冷方式です。吸気孔をふさぎますと、故障の原因となりますので、ふさがないでご使用ください。

接続のしかた

各部の説明



TOSHIBA

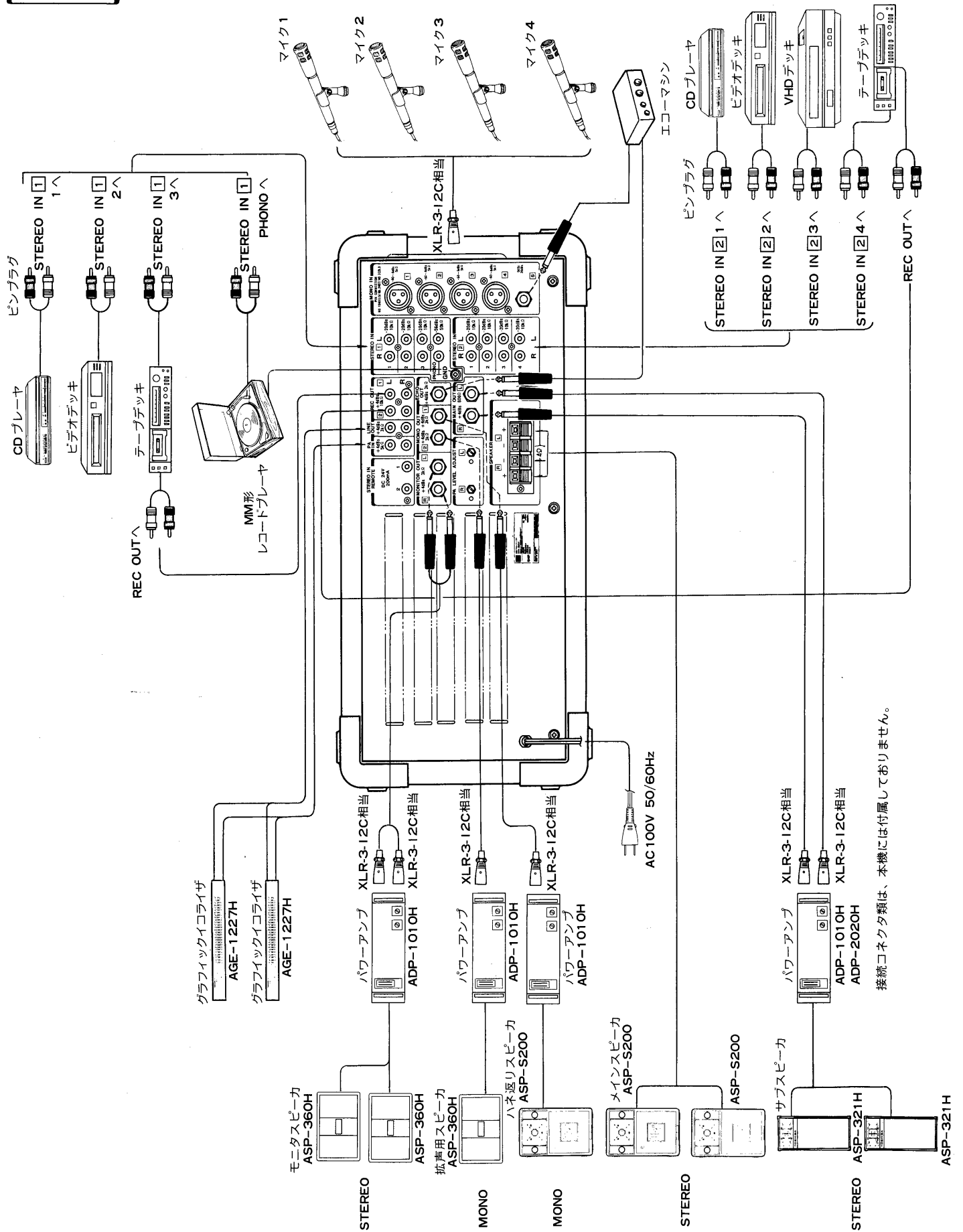
接続端子と接続機器

接続端子	接続機器	入出力レベル
モノラル入力1~4 [MONO IN 1~4]	マイクロホン、ワイヤレス チューナ、電子楽器など	-60dBs~-6dBs 5kΩ 平衡
モノラル入力5 [MONO IN 5]	ワイヤレスチューナ、ミキサ、 電子楽器など	-20dBs, 0dBs 10kΩ 不平衡
ステレオ入力① 1, 2, 3, [STEREO IN ① 1, 2, 3]	CDプレーヤ、カセットデッキ(再生)、 ビデオデッキ(音声)など	-20dBs 10kΩ 不平衡
ステレオ入力① フォノ [STEREO IN ① PHONO]	レコードプレーヤ (MM)	-56dBs 50kΩ 不平衡
ステレオ入力② 1, 2, 3, 4, [STEREO IN ② 1, 2, 3, 4]	CDプレーヤ、カセットデッキ (再生)、 ビデオデッキ (音声)など	-20dBs 10kΩ 不平衡
録音出力①, ② [REC OUT ①, ②]	テープデッキ (録音)	+4dBs 3kΩ 不平衡
エコー出力 [ECHO OUT]	エコーマシーン (入力) などの効果装置	+4dBs 3kΩ 不平衡
モノラル出力①, ② [MONO OUT ① ②]	パワーアンプ (ハネ返りスピーカ用)	+4dBs 3kΩ 不平衡
モニタ出力 [MONITOR OUT]	パワーアンプ (モニタ用)	+4dBs 3kΩ 不平衡
メイン出力 [MAIN OUT]	パワーアンプ ADP-1010H, ADP-2020Hなど	+4dBs 600Ω 不平衡 (AFB-H720(別売)取付により 平衡可)
ライン出力 [LINE OUT]	グラフィックイコライザ (入力)など	+4dBs 3kΩ 不平衡
パワーアンプ入力 [PA IN]	グラフィックイコライザ (出力)など	+4dBs 5kΩ 不平衡

通常は、ショ
ートピンで接
続されていま
す。

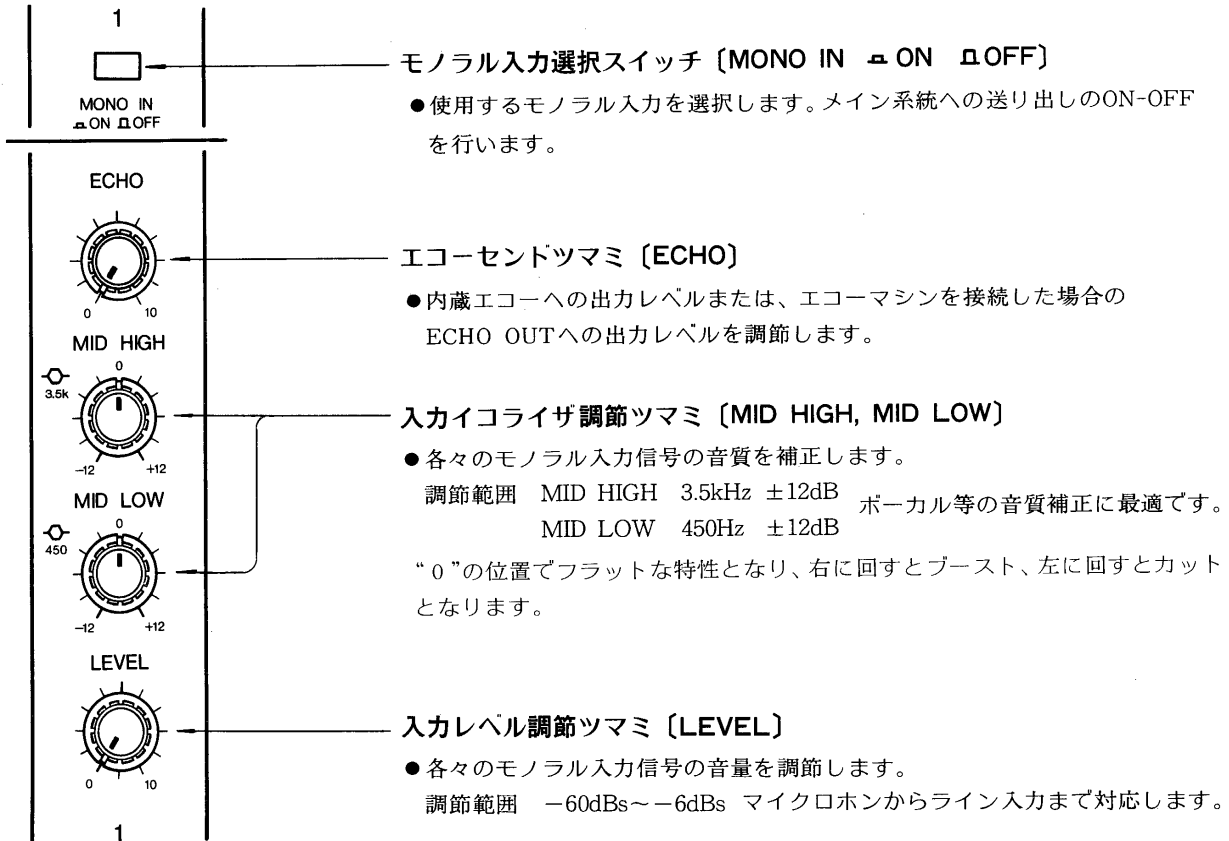
TOSHIBA

接続例

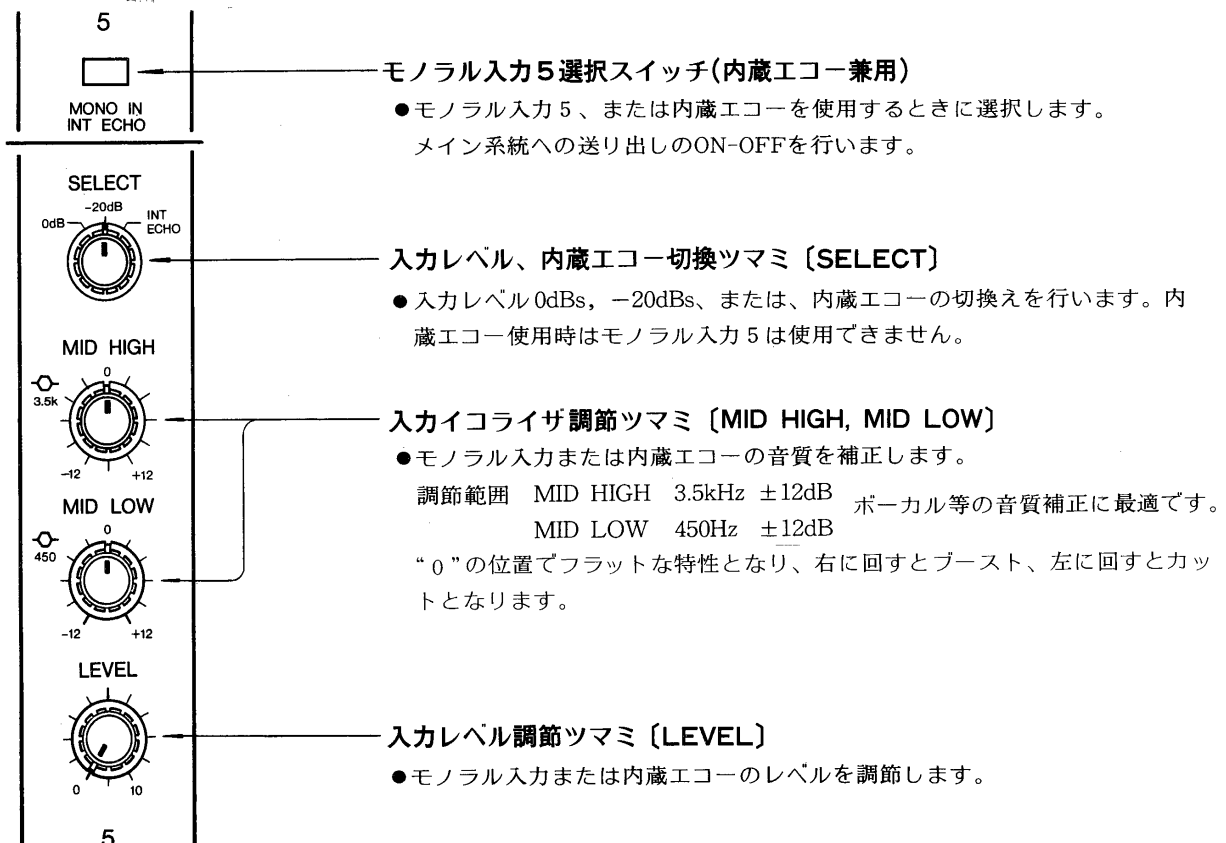


操作のしかた

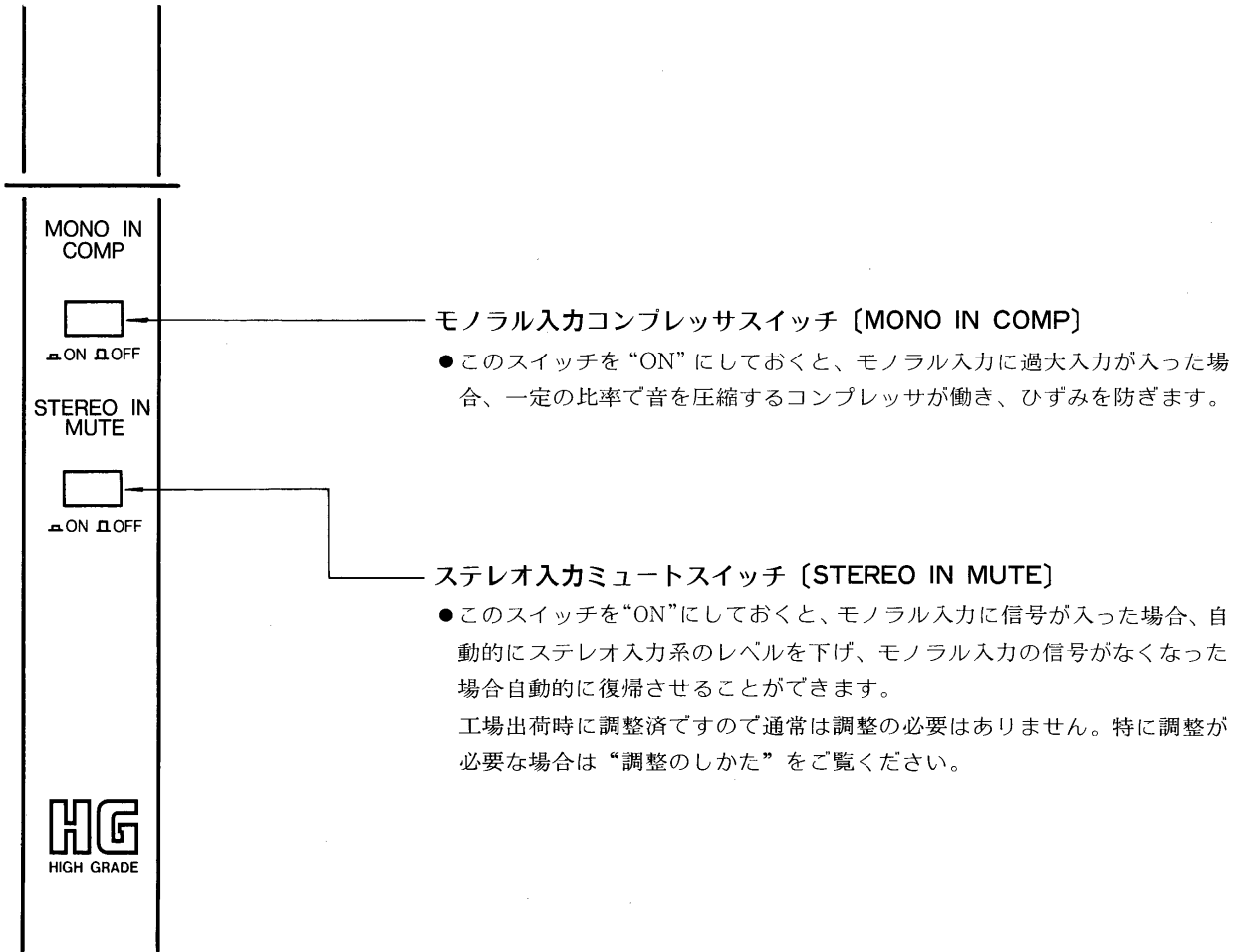
■モノラル入力部1~4 (MONO IN 1~4)



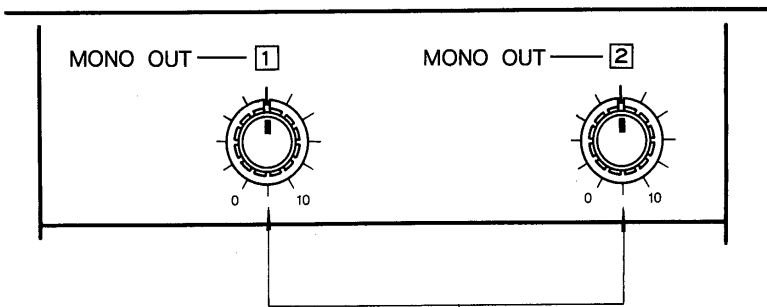
■モノラル入力5 内蔵エコー兼用部 (MONO IN 5, INT ECHO)



■モノラル入力コンプレッサ・ステレオ入力ミュートコントロール部 [MONO IN COMP, STEREO IN MUTE]



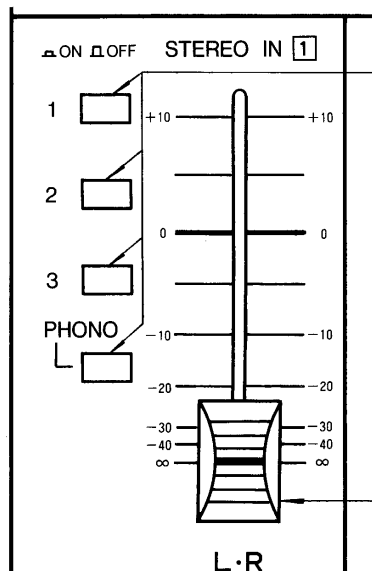
■モノラル出力部 [MONO OUT-①, ②]



モノラル出力調節つまみ

- MONO OUT ①、②に出力される信号のレベルを調節します。
- MONO OUT ①はプリフェーダ出力に、MONO OUT ②はポストフェーダ出力に設定されています。

■ ステレオ入力部 (STEREO IN ①、②)



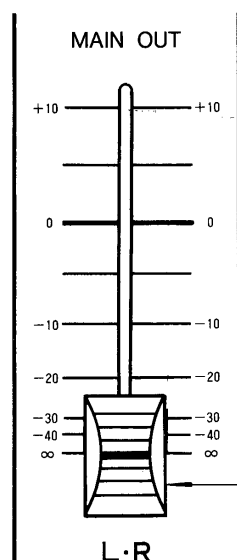
ステレオ入力選択スイッチ

- STEREO IN ①はステレオ入力①に接続したAV機器3台とレコードプレーヤー1台の中から一つを選択できます。
- STEREO IN ②はステレオ入力②に接続したAV機器4台の中から一つを選択できます。

ステレオ入力フェーダ

- ミキシングポイントへ送り出すステレオ入力信号のレベルを調節します。マイクロスイッチが内蔵されていますので、ステレオ入力①、②の選択スイッチ1では、接続機器のスタート、ストップなどをフェーダの操作と連動して制御できます。接続は3ページをご覧ください。

■ メイン出カフェーダ (MAIN OUT)



メイン出カフェーダ(ステレオ)

- メイン出力[L][R]、ライン出力[L][R]に出力される混合された各入力の信号の全体のレベルを調節します。

TOSHIBA

■出力イコライザ部 [MAIN EQ]

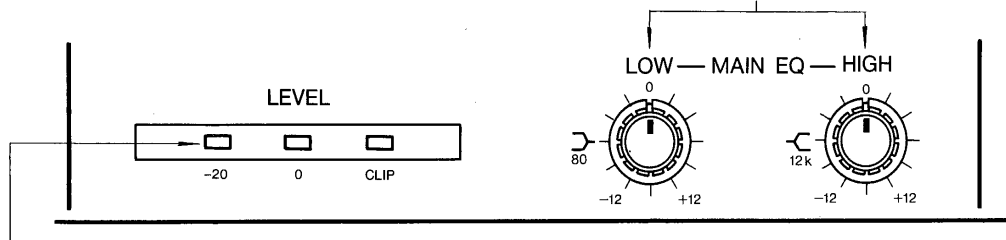
出力イコライザ調節つまみ [LOW、HIGH]

- 出力信号全体の音質を補正します。
- “0”の位置でフラットな特性となり、右に回すとブースト、左に回すとカットとなります。

調整範囲

LOW : 80Hz ±12dB

HIGH : 12kHz ±12dB



出力レベル表示灯 [LEVEL -20, 0, CLIP]

-20 (緑色)

MAIN OUT, LINE OUT -20dBs以上で点灯。信号が出力されているかの確認に用います。

0 (緑色)

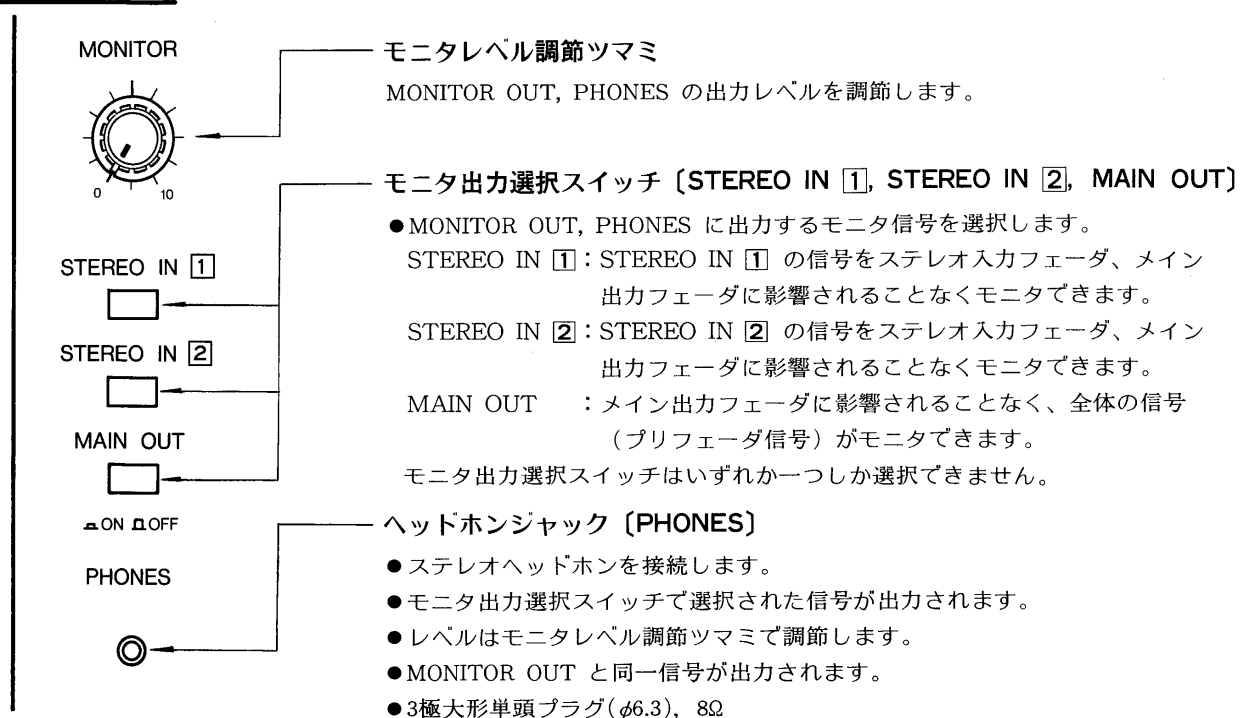
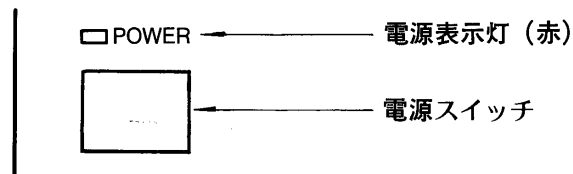
MAIN OUT, LINE OUTの出力が0dBs以上で点灯

CLIP (赤色)

MAIN OUT, LINE OUTの出力が、+4.9dBs以上で点灯。電力増幅器がひずみはじめるレベルを警告します。

入力レベル調節つまみ、ステレオ入力フェーダ、メイン出力フェーダで、ときどき点灯する程度に調整します。

■電源スイッチ部 [POWER]、モニタ部 [MONITOR]



調整のしかた（調整の必要がある場合）

■モノラル入力コンプレッサ [MONO IN COMP] の調整

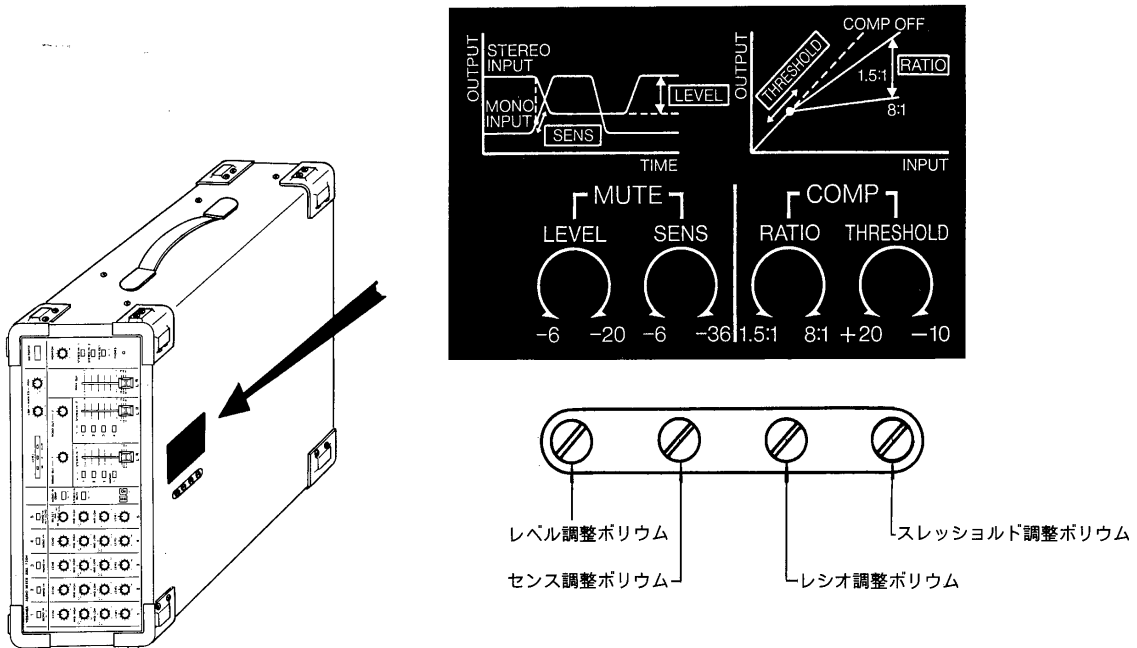
モノラル入力コンプレッサスイッチ [MONO IN COMP] を“ON”にしておくと、モノラル入力に過大入力が入った場合、過大入力を圧縮し、出力音をひずませないで出力します。この場合の過大入力の圧縮開始レベルを本体底面のスレッシュホールド調整ボリューム (THRESHOLD) で、圧縮開始レベル以上の過大入力の圧縮比率をレシオ調整ボリューム (RATIO) で調整できます。

- ①モノラル入力コンプレッサスイッチ [MONO IN COMP] を“ON”にします。
- ②モノラル入力にマイク等で、大きな音を入力、スピーカで音を聞きながら、底面のスレッシュホールド調整ボリュームをドライバーで回して圧縮開始レベルを設定します。
右に回すほど、入力レベルの低いところから圧縮を開始します。
- ③レシオ調整ボリュームを回して圧縮比率を調整します。右に回すほど大きく圧縮されます。

■ステレオ入力ミュート [STEREO IN MUTE] の調整

ステレオ入力ミュートスイッチ [STEREO IN MUTE] を“ON”にしておくと、ステレオ入力からの音楽信号が出力されている場合、モノラル入力より入力があると、ステレオ入力の音楽信号を自動的にさげ、モノラル入力が優先して出力されます。モノラル入力がどの位のレベルでステレオ入力の信号を下げるかをセンス調整ボリューム (SENS) で、ステレオ入力の信号をどの程度下げるかをレベル調整ボリューム (LEVEL) で調整できます。

- ①ステレオ入力①または②より音楽信号を入力します。
- ②ステレオ入力ミュートスイッチを“ON”にします。
- ③モノラル入力にマイクで音声を入力し、どの位のモノラル入力ですtereオ入力を下げるかをセンス調整ボリュームで調整します。右に回すほどモノラル入力の低いレベルでステレオ入力が下がります。
- ④レベル調整ボリュームでステレオ入力をどの程度下げるかを調整します。右へ回すほど下がるレベルは大きくなります。

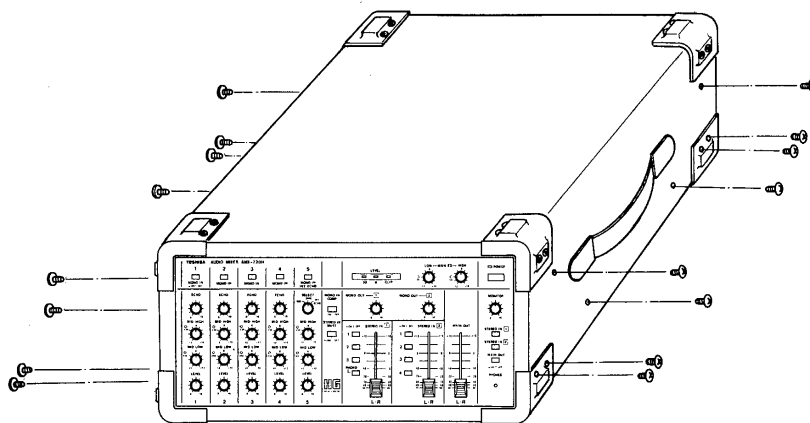


マッチングトランスの取り付け

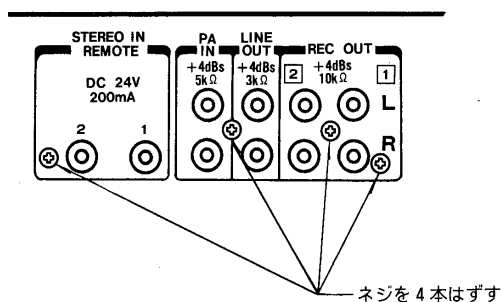
メイン出力〔MAIN OUT **L**、**R**〕は不平衡出力となっています。

接続機器との距離が長くなるときは、マッチングトランス (AFB-H720 別売) を用いてメイン出力を平衡出力として使用してください。

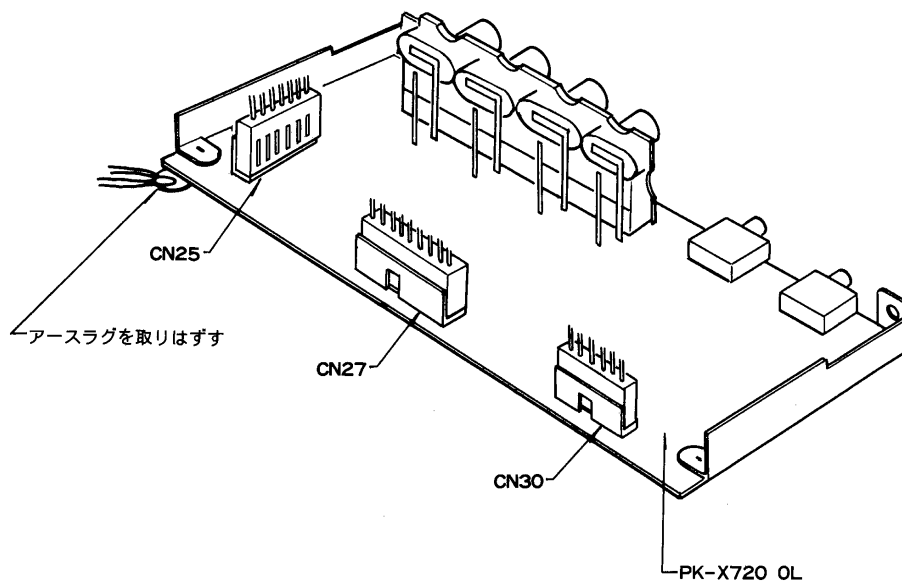
- ① 本体側面の止めネジ 8 本とコーナプロテクタを止めている止めネジ 8 本をはずすと、木製キャビネットがはずれます。



- ② 背面パネルのネジ 4 本をはずします。

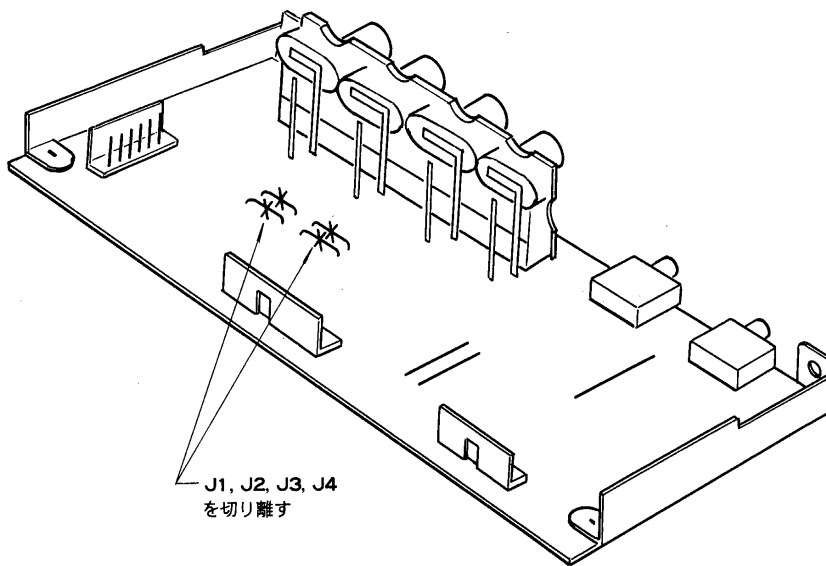


- ③ 基板 (PK-X720 OL) に接続されるコネクタ CN25, CN27, CN30 とアースラグをはずします。

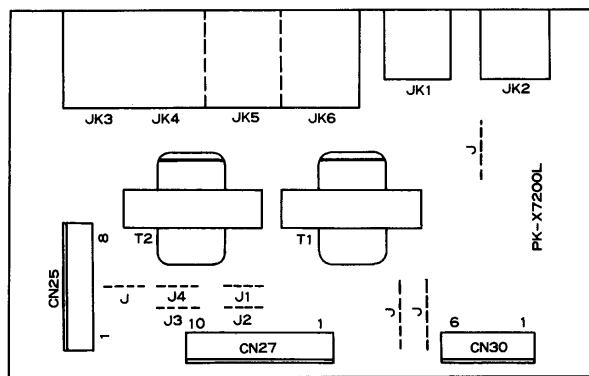
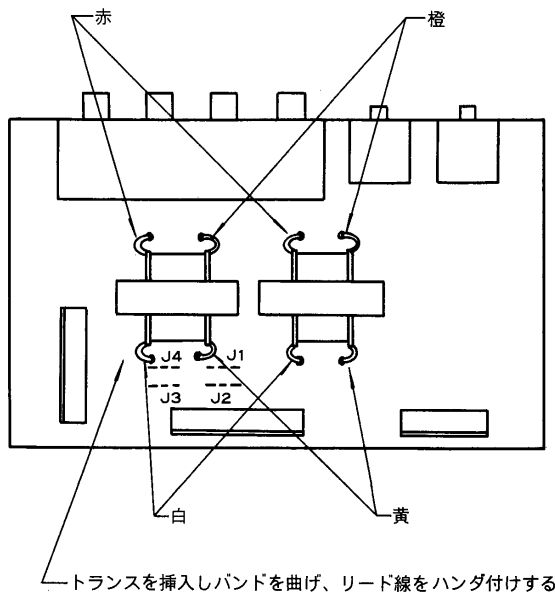


CN25, 27, 30 を抜き PK-X720 OL を取りはずす

④ジャンパー線 J1, J2, J3, J4 をニッパ等で切り離します。



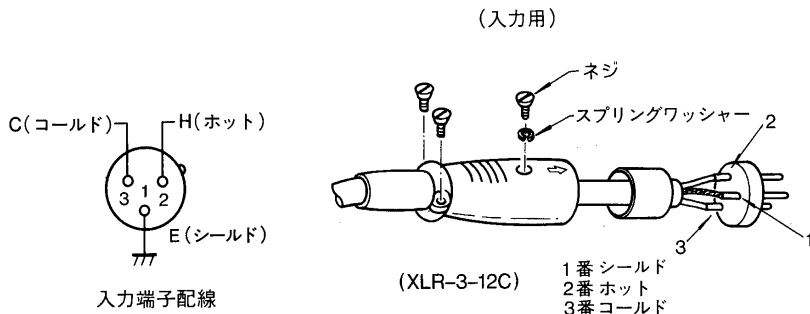
⑤マッチングトランス (AFB-H720) を基板に挿入し、バンドを曲げリード線をハンダ付けします。



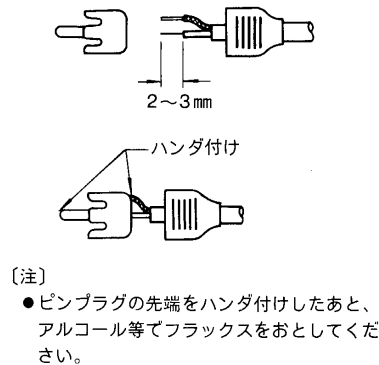
基板図(PK-X720 OL)

各プラグへの接続について

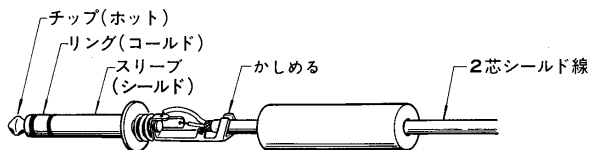
■ キャンノコネクタの接続のしかた



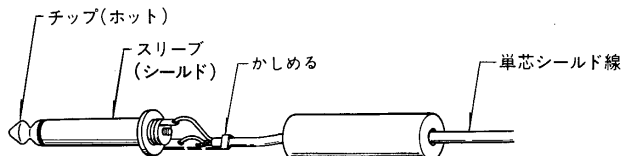
■ ピンプラグへの接続



■ 3極大形単頭プラグへの接続



■ 2極大形単頭プラグへの接続

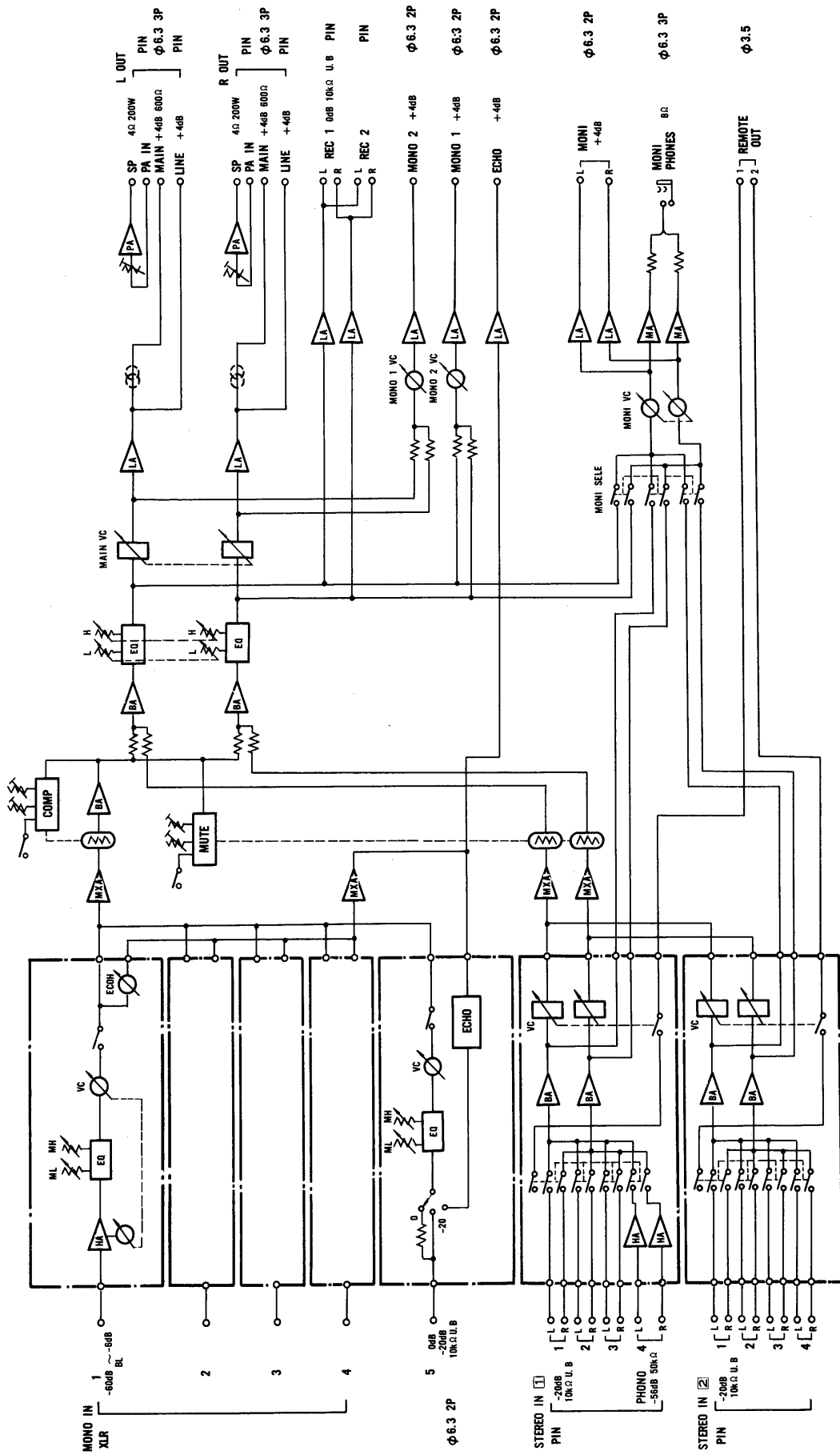


修理サービス

ご使用中異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店、またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名（AMA-720HP）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

TOSHIBA

ブロックダイアグラム



TOSHIBA

仕 様

電 源	100V 50/60Hz				
消 費 電 力	1170VA (200W+200W 4Ω) Ⓢ 340W				
ミ キ サ 部	周波数特性	20Hz~20kHz +0.5dB - 2dB [マッチングトランス(別売)なし]			
	全高調波ひずみ率	0.1%以下 (+18dBs 出力時 20Hz~20kHz メイン出力)			
	混変調ひずみ率	0.1%以下 (+18dBs 出力時 メイン出力)			
	入力換算雑音	-125dBs以下(モノラル入力150Ωターミネート JIS-A)			
	残留雑音比	85dB以上			
	最大出力	+20dBs			
	クロストーク比	65dB以上			
	最大利得	モノラル入力 74dB ステレオ入力 44dB			
	入 力 回 路	モノラル入力1~4	-60dBs~-6dBs	5kΩ	電子平衡4回路(XLRタイプ)
		モノラル入力5	0dBs -20dBs	10kΩ	不平衡 (2極大形ジャック) φ6.3
		内蔵エコー	モノラル入力5と操作部兼用(スイッチにより切換え)		
		ステレオ入力①1~3	-20dBs(L/R)	10kΩ	不平衡 3回路(ピンジャック)
		PHONO	-56dBs(L/R)	50kΩ	不平衡 RIAA (ピンジャック)
		スイッチにより1つを選択			
ステレオ入力②1~4	-20dBs(L/R)	10kΩ	不平衡 4回路(ピンジャック)		
	スイッチにより1つを選択				
出 力 回 路	ライン出力	+4dBs(L/R)	3kΩ	不平衡 (ピンジャック)	
	メイン出力	+4dBs(L/R)	600Ω	不平衡 (3極大形ジャック) φ6.3	
	モニタ出力	+4dBs(L/R)	3kΩ	不平衡 (2極大形ジャック) φ6.3	
	モノラル出力①	+4dBs(L+R)	3kΩ	不平衡 (2極大形ジャック) φ6.3	
	モノラル出力②	+4dBs(L+R)	3kΩ	不平衡 (2極大形ジャック) φ6.3	
	録音出力①、②	+4dBs(L/R)	10kΩ	不平衡 2回路(ピンジャック)	
	エコー出力	+4dBs(L+R)	3kΩ	不平衡 (2極大形ジャック) φ6.3	
	ヘッドホン出力	8Ω 0.1W+0.1W		(3極大形ジャック) φ6.3	
モノラル入力コライザ	MID LOW 450Hz ±12dB、MID HIGH 3.5kHz ±12dB、ピーキング型				
メイン出力コライザ	LOW 80Hz ±12dB、HIGH 12kHz ±12dB、シェルビング型				
モノラル入力 コンプレッサ	感度(サミングポイント)	+20dBs~-10dBs (可変)			
	圧縮比	1.5:1~8:1 (可変)			
ステレオ入力 ミュー ト	感度(サミングポイント)	-6dBs~-36dBs (可変)			
	減衰量	-6dB ~-20dB (可変)			
レベル表示灯	LEDによる3ポイント表示 -20dB(緑)、0dB(緑)、CLIP(赤)				
リモート回路	メーク接点2回路(ステレオ入力フェーダに連動)DC24V 200mA 3極ミニジャック φ3.5				
パ ワ ー ア ン プ 部	定格出力	200W+200W(4Ω)、120W+120W(8Ω)			
	周波数特性	20Hz~20kHz +0.5dB -2dB			
	全高調波ひずみ率	0.1%以下(定格出力時)			
	混変調ひずみ率	0.1%以下(定格出力時)			
	S N 比	95dB以上			
	入 力	+4dBs(L/R) 5kΩ 不平衡(ピンジャック) 音量調節器付(+0dBs~∞)			
放 熱 方 式	ファンによる強制放熱方式				
使用温度範囲	0~+40℃				
外 装	パネル:黒色塗装 ケース:ブラックレザー仕上				
寸 法	474(幅)×224(高さ)×440(奥行) mm				
重 量	約23kg				
付 属 品	中継用ショートピン	2	ヒューズ(15A)	2	
	取扱説明書	1	ヒューズ(15A)	1	
	サービスステーション一覧表	1			

外形寸法図

